

(別添 1)

(※本書式は、河川毎に作成し、原則として国土交通省（市区町村にあっては都道府県經由にて）に個別計画の提出時にあわせて提出願います）

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
				都道府県名 又は 市区町村名	広島県広島市
				河 川 名	普通河川小田川等
				担 当 課 室 名	河川防災課
				連 絡 先	082-504-2377
事業名	広島市普通河川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	広島市が管理する普通河川小田川等の堆積土砂掘削を行うもの。 (施工箇所：広島県広島市内)				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）				土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2, 420m3		24, 000m3	
	令和 8 年度	5, 430m3		21, 580m3	
	令和 9 年度	5, 430m3		16, 150m3	
	令和 1 0 年度	5, 430m3		10, 720m3	
	令和 1 1 年度	5, 290m3		5, 290m3	
	計	24, 000m3		0m3	
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	81, 400	81, 400	0	
	令和 8 年度	90, 150	90, 100	50	
	令和 9 年度	90, 150	90, 100	50	
	令和 1 0 年度	90, 150	90, 100	50	
	令和 1 1 年度	90, 150	90, 100	50	
	計	442, 000	441, 800	200	
事業の必要性、 緊急性	・ 広島市内の普通河川小田川等においては、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力や調整容量が低下（流下断面が阻害）しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 2 4 千m3の堆積土砂掘削を行い、河川の河道断面や調整池の調整容量を確保する。 ・ 新たに緊急的な対策が必要となった場合は、優先的に対応する。 ※掘削した土砂等については、リサイクルの観点から他の工事現場等への流用を図る。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：雨量観測（降雨時毎） ・ 河川巡視：未改修河川や工事中河川を対象に、降雨期前に巡視を実施。 ・ 施設点検等：毎年、河川・調整池を選定し点検を実施（5 年サイクルで全施設を点検） ・ 測量・調査：施設点検時、通報時及び異常発見時に実施。 ・ 掘削後の維持管理：降雨期前に巡視を実施。				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	掘削した土砂等については、リサイクルの観点から他の工事現場等への流用を図る。				

* 記述内容に変更がある場合には、必ず変更のうえ提出するものとする。